

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成26年度取組結果】

団体名	北九州高速鉄道 株式会社
-----	--------------

所管課	建築都市局 都市交通政策課
-----	---------------

<p>団体に対するミッション</p> <p>公共交通機関として重要な役割を担う北九州モノレールの安全・正確・快適な管理運営を行うとともに、経営を安定化させる。</p>
---

<p>行財政改革大綱における見直し内容</p> <p>沿線の少子高齢化等の進展による利用者数の減少や車両等大規模設備の更新など、今後も厳しい経営状況が見込まれるため、応分の受益者負担等も含め、中長期の経営計画を策定し、それに基づき、経営の安定化を図る。</p>
--

ミッションに基づく中期計画

3~5年後に目指す状態	平成27年度策定の「北九州モノレール中期5か年計画」の推進に取り組み、経営基盤の強化を図る。						
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）						
	H25 実績	H26 目標 実績		H27 目標	H28 目標	H29 目標	H30 目標
運転事故の件数	—	0件	0件	0件	0件	0件	0件
中長期の経営計画の策定	—	中長期経営計画素案作成	素案作成完了	—	—	—	—

ミッションの遂行状況の評価（平成26年度）

団体における評価	<p>運転事故ゼロを更新するとともに、保安施設等の更新を計画的、効率的に実施し、安全・正確・快適な管理運営に努めた。</p> <p>なお施設更新については、国の補助金などを活用し、計画的に平成27年度事業と併せ実施予定である。</p> <p>さらにラッピング列車のPRなど収益増につながる取り組みを積極的に行うなど、経営の安定化に努めた。</p> <p>26年度の取組については概ねミッションを遂行できたと考えている。</p>	市の評価	<p>安全、安定輸送の維持及び向上を図るための保安設備等更新、教育訓練を計画どおり実施することにより、公共交通機関として最も重要な安全、正確、快適なモノレール運行を維持している。開業からの運転事故ゼロを継続は、公共交通機関としての役割を果たしている。</p>
	今後の課題及び見直し内容		<p>平成26年度に策定した「中長期経営計画素案」に基づき、北九州高速鉄道株の経営の安定化を図る。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	特に経営状況を注視する団体
<p>「北九州モノレール中期5か年計画（平成27年度～平成31年度）」を策定し、平成27年3月に北九州市外郭団体総合調整委員会の承認を得た。</p>	